

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
小児がん患者に対する在宅医療の実態とあり方に関する研究
分担研究報告書

「大阪市立総合医療センターにおける
小児がん在宅ケアに関する取り組みの現況」

研究分担者 多田羅竜平 大阪市立総合医療センター 緩和ケアセンター長
研究協力者 大濱江美子 大阪市立総合医療センター MSW

研究要旨

大阪市立総合医療センターにおける小児がん患者の在宅ケアに関する取り組みについて報告した。

A. 研究目的

大阪市立総合医療センターにおける小児がん患者に関する先進的な取り組みを報告することを通じて小児がん在宅ケアのモデルづくりに資すること。

て病院と地域との継続的かつアクティブな連携のためには ICT の活用が有用である。

B. 研究方法

実践報告
（倫理面への配慮）
特記すべきことなし

E. 健康危険情報

特記すべきことなし

C. 研究結果・考察

各種制度・在宅支援・就労就学など各種リーフレットを作成し、適時適切な情報提供を行い、さらには医療用 SNS を活用した在宅移行調整とフォローアップ体制の構築を行った。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

（発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）

D. 結論

小児がん患者の在宅ケアの実践におい

G. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし